



ゆめぐみだより

朝、夕と涼しくなってきた秋が深まってきたことを感じます。

天気の良い日は毎日の様に園外へ散歩に出掛けているゆめぐみです。バギーに乗って心地よい風に吹かれながら、コスモスの花を見たり、柿の実を見たりして秋探しをしています。また歩行が可能な子は誘導ロープを持って歩く練習を始めています。

最初は誘導ロープの輪っかを持ってもすぐに手を離してしまっていました。が、「ぎゅって握ろうね」と声掛けをしながら援助していく中で、少しずつ長い時間、握ることができるようになってきています。公園では、フランクや鉄棒に興味を持っています。保育教諭に抱っこされてフランクに乗ったり、鉄棒にぶら下がったりすると満面の笑顔になります。

室内遊びではぬいぐるみ遊びや手紙入れ遊びがお気に入りです。保育教諭に犬のぬいぐるみを持ってくるので、「ワンワン！」と鳴き真似をしながら追いかけると、嬉しそうに逃げる子ども達です。手紙型の玩具を手作りポストに入れては出してを繰り返し楽しむ姿も見られます。11月も健康に気を付けて楽しく過ごしていきたいと思えます。

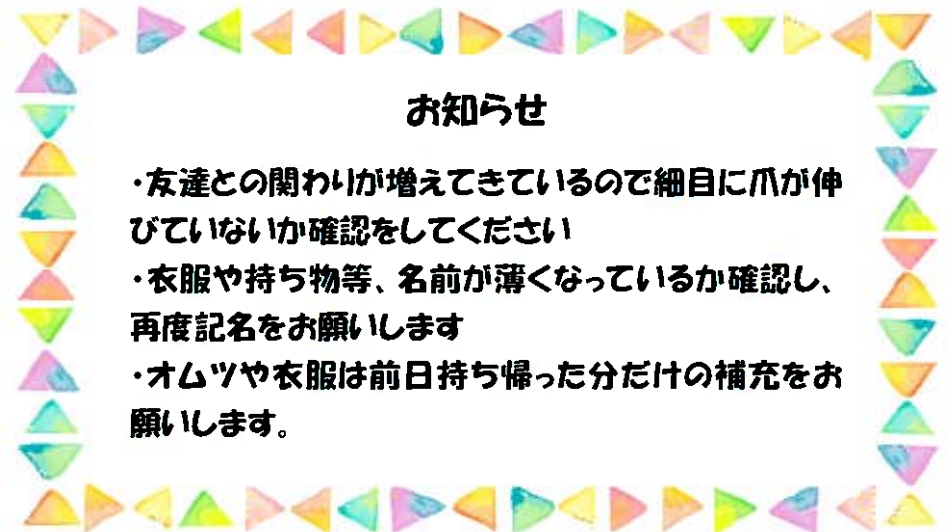
保育目標

- ・園外散歩で、秋の自然物に触れ親しむ。
- ・身の周りの事に興味を持ち少しずつ自分でしようとする。
- ・保育教諭の仲立ちのもと、友だちとの関わりを楽しむ。
- ・絵本や手遊びを通して喃語や発語が増える。
- ・自分で食べたいという意欲を持ちながら楽しく食事をする。



自我の芽生え

「このおもちゃ使いたい」「この絵本が見たい」「あっちへ行きたい」などなど、動作や表情、声や言葉で自分の気持ちを伝えようとする姿が増えました。子ども達の成長をととても感じる瞬間です。子ども達の思いに耳を傾け、「このおもちゃを使いたかったんだね」「まだ遊びたいんだね」と、言葉に出して共感し、気持ちが伝わっている事を体感し、受け止めてもらえた喜びや満足感を感じられるようにしています。子ども達も私たちの言葉や行動で「うんうん」とうなづいたり、気持ちを落ちつけたいと納得する姿は更に成長を感じます。



お知らせ

- ・友達との関わりが増えてきているので細目に爪が伸びていないか確認をしてください
- ・衣服や持ち物等、名前が薄くなっているか確認し、再度記名をお願いします
- ・オムツや衣服は前日持ち帰った分だけの補充をお願いします。